

大垣照子議員 利益率確保のため、自社営業を中心に行なうか。

町長 営業委託が3割あり経費がかかる。経費節減に努め社員一丸となって頑張る。皆様のご支援と協力をお願いする。

株式会社 道の駅おろちループ

リニューアルオープンにより社員一同新たな気持ちで愛される道の駅になるよう取り組んだ。指定管理が前期をもって終了し、今期は清算業務を実施し解散となる。

売上高 1,433万円
(前年比 110.0%)
△82万円

奥出雲仁多米株式会社

台風による災害が多発したが当町は大きな被害もなく平年並みの作柄を保った。集荷数量も14%増で、全国的に在庫過多の状況の中、安定的な販売が見込まれている。「出雲國仁多米」が3年ぶり4度目の金賞受賞した。

売上高 5億8,872万円
(前年比 113.7%)
純利益 37万円

株式会社仁多堆肥センター

需要に対し供給が不足している。受託する散布面積も増加傾向。高性能の堆肥製造機導入により生産性が向上した。一方散布機の老朽化による修理費は増加。販売数は今後も増加傾向にあり、製品のストック施設建設が急務な課題である。

売上高 3,865万円
(前年比 122.6%)
△7万円

一般社団法人奥出雲町農業公社

繁殖育成事業は仔牛の市場価格下落で減収、堆肥事業も前年を下回った。農地利用集積円滑化事業等を引き続き推進する。

売上高 1億1,491万円
(前年比 99.0%)
△851万円

有限会社奥出雲椎茸

東京・大阪各中央卸売市場の取り扱い数量はわずかに増えたが、平均単価が昨年を下回った。

売上高 11億139万円
(前年比 97.4%)
△2,393万円

内田雅人議員 生産農家において今年度雲太一号に全面的に切り替えが進むのか。

農林土木課長 今年秋までに全量切り替える。

大垣照子議員 個人農家はそのことをどう思っているのか。収益も上がるのか。

農林土木課長 生産組合で話し合い決定した。単価もランクの高い雲太により、上がっていくと思つていい。

株式会社舞茸奥出雲 市場取扱い量の減少を、直販所やスーパーへの販売で補い、品質の向上と売上確保をしていく。

売上高 1億7,002万円
(前年比 101.8%)
△13万円

奥出雲町土地開発公社

事業収益 9,990万円
純利益 116万円

黒原光博議員 不動産鑑定士による地価評価の見直しをすべきでは、一般財源を使う以上正しい評価額で購入すべきだ。

建設課長 町の関連事業で先行取得したものでの時の簿価で買取してもらう。ご理解を頂きたい。